

政策シート 政策名 02 消防団の防災体制の充実

予算費目名 01 消防団費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 05 いつでも、どこでも迅速的確に対応する消防・救急体制づくり

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

地域の火災等の災害に迅速・柔軟に対応できる消防団の防災体制の充実に向け、消防団施設の建設や維持管理及び消防団員の活動の安全性を向上させる装備等の配備並びに活動環境の向上を図る。

(3) 関連するSDGsのゴール

①貧困	⑪都市	⑬気候変動							
-----	-----	-------	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	482,151	470,134	555,908	306,876		
決算	464,003	400,065	513,457			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	42,200	42,200	42,200	39,200		
年間経費(予算又は決算+A+B)	506,203	442,265	555,657	346,076		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
公務災害発生件数の改善率(過去5年の最多発生件数9件からの改善率)	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	55.6	88.9	77.8			
消防団員の充足率	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	96.7	86.6	84.4			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

地域の火災等の災害に迅速・柔軟に対応できる消防団の防災体制の充実に向け、消防団施設の建設に係る準備や維持管理及び消防団員の活動の安全性を向上させる装備等の拡充並びに活動環境の向上を図った。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 遅れている

- ・コロナ感染拡大防止対策として訓練や研修の規模を縮小して実施したほか、eラーニングを活用し新入団員向け研修及び幹部向け研修等を実施した。eラーニングを活用した安全管理研修を実施したものの公務災害が2件発生した。
- ・公式インスタグラムを活用し情報を発信するとともに、Googleディスプレイ広告及びInstagram広告等で消防団員加入促進事業を実施した。充足率の低下がみられるため、消防団員加入促進事業結果の分析を踏まえた広報を展開する。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	消防団活動事業	—	—	○		111,179	104,179	1.0				
2	消防団施設運営事業	—	—	○		74,001	68,401	0.8				
3	消防団員福利厚生事業	—	—	—		129,392	123,792	0.8				
4	消防団運営経費	—	—	—		31,504	10,504	2.6			1.0	
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						346,076	306,876	5.2			1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 消防団活動事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

消防団活動に対し、必要な費用の支出や被服の貸与を行い、消防団員の安全な活動を推進するとともに、消防団員の士気高揚と活動への市民の理解を深めることを目的とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1948	-	一般会計	自治事務(法令義務)	消防団に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①貧困	⑪都市	⑬気候変動							
事業とゴールの関連性		消防団員の安全な活動を推進するとともに、市民の防火防災に対する理解を深めることで、災害による被害の軽減を図る。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	279,808	277,170	242,667	104,179		
	決算	263,813	225,211	212,748			
	国・県支出	11,282	11,532	6,680	8,343		
	市債						
	その他	84	62	63	43		
	一般財源 一般会計繰入金	252,447	213,617	206,005	95,793		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		7,000	7,000	7,000	7,000		
人工	正規	1.0	1.0	1.0	1.0		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		270,813	232,211	219,748	111,179		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
公務災害発生件数の改善率(%)			目標	100	100	100	100	100	100
			実績	55.6	88.9	77.8			
消防団員の充足率(%)			目標	100	100	100	100	100	100
			実績	96.7	86.6	84.4			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・消防団員出動等活動事業
消防団員の災害出動等の活動に対し費用弁償を行った。
- ・消防団運営管理等交付事業(交付金)
消防団の円滑な運営管理を図るため消防団に対し、運営に要する経費を交付した。
- ・消防団員被服整備事業
消防団員の活動上必要な被服及び付属品を消防団の基準に基づき貸与し、消防団員の活動の安全性向上を図った。
- ・出初式開催事業
式典にて優良な消防団員及び消防分団等に対する表彰を行い、消防団員の士気高揚を図るため、消防出初式を挙行了。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・eラーニングを活用した研修や訓練に努めた。
- ・災害出動及び訓練出動した消防団員に対し、費用弁償を適正に支給した。
- ・各支団、分団等に対し交付金を交付し、円滑な消防団運営を図った。交付対象: 団本部×1、ラッパ隊×1、支団本部×7、分団×77
- ・消防団員の活動の安全性向上のため、新基準の活動服をはじめ各種装備を配備した。
- ・出初式を開催し、消防団員の士気高揚を図った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・出動等にかかる費用を、費用弁償から報酬へ変更するよう条例を改正した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、訓練や研修の規模を縮小する等、災害対応力の低下を招かないよう工夫した取り組みを実施した。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・外部講師を招いての研修会がコロナ禍のため実施できなかったが、eラーニングを活用し新入団員向け研修及び幹部向け研修等を実施し人材育成を図った。
- ・退団者からの情報を収集し、少しでも長く在団してもらえるような事業の検討を実施した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 【改善: 人材育成】・eラーニングを活用した研修の幅を広げるため研修用コンテンツを増やし、消防団の知識・技術の向上を図るとともに、引き続き公務災害の発生防止に資する研修を実施していく。
- 【改善: 収集・分析】・消防団員の活動状況に応じた被服貸与年数の見直しを検討し、新型被服について情報を収集する。
- ・少しでも長く在団してもらえるような方策を講じる。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・消防団員出動等活動事業
消防団員の研修等への派遣に対し費用弁償を行う。
- ・消防団運営管理等交付事業(交付金)
消防団の円滑な運営管理を図るため消防団に対し、運営に要する経費を交付する。
- ・消防団員被服整備事業
消防団員の活動上必要な被服及び付属品を消防団の基準に基づき貸与し、消防団員の活動の安全性向上を図る。
- ・出初式開催事業
新年の消防演習として、消防装備、訓練等を市民に披露することで、消防活動及び防火防災についての理解を得るとともに消防職員及び消防団員の士気高揚を図るため、消防出初式を挙行する。また、式典にて優良な消防分団及び消防団員に対し表彰を行う。

事業シート (事業名) 02 消防団施設運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

老朽化や耐震性の劣る分団庁舎の建替えや改修を行うとともに、消防団活動用の資機材整備を行い、地域の消防防災拠点として充実強化を図ることを目的とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1948	-	一般会計	自治事務(法令義務)	消防組織法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①貧困	⑩都市	⑬気候変動							
事業とゴールの関連性		老朽化や耐震性の劣る分団庁舎の整備や資機材の整備を行い、地域の消防防災力の充実強化を図ることで災害による被害の軽減を図る。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	36,920	56,851	167,255	68,401		
	決算	36,695	51,194	156,414			
	国・県支出	5,282	4,572	8,532	47,031		
	市債	3,800	14,900	120,300			
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	27,613	31,722	27,582	21,370		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		5,600	5,600	5,600	5,600		
人工	正規	0.8	0.8	0.8	0.8		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		42,295	56,794	162,014	74,001		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
女性消防団員の活動に配慮した消防団施設の数(施設)			目標	18	18	20	20	21	22
			実績	18	18	20			
耐震ランクⅢ相当の施設の解消率(%)			目標	95	95	96	96	98	100
			実績	94.2	94.2	96.6			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	05	02	01	003101000	02	消防総務課	太田 陽視	2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・消防団施設維持管理事業
消防団施設を適切に維持管理し、災害発生時の即時対応体制を保持した。
- ・消防団庁舎整備事業
消防団施設の老朽化や耐震性能不足を解消するため、浜松第9分団庁舎及び浜北第3分団庁舎の改築工事及び水窪第1分団イロウの解体を実施した。また、浜松第9分団庁舎及び浜北第3分団庁舎を女性消防団員の活動に配慮した消防団施設に整備した。
- ・消防団資機材整備事業
消火ホースの配備や救命資機材の消耗品を更新した。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・消防団施設維持管理事業
消防分団施設を適切に維持し、災害発生時の即時対応に支障のないよう施設運営を行った。
- ・消防団庁舎整備事業
老朽化した分団施設の建設及び施設の統廃合を実施することで、地域防災拠点としての整備及び庁舎環境の改善を図った。
- ・消防団資機材整備事業
各分団等に対し資機材を配備、更新することで災害対応力の向上を図った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など) 特になし。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・施設維持管理事業、庁舎整備事業による建設工事等を行うことで機能強化を図った。
- ・消防団資機材整備事業についても、消防団ホースの継続的配備を行い、災害対応力の向上を図った。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・施設維持管理事業、庁舎整備事業による整備工事等を感染症対策に配慮して行うことで機能強化を図る。
- ・施設の改修改築、耐震化、借地解消等の問題改善のため、長期的な視野で情報を分析・検討する。また、消防団員の意見を踏まえ、地域防災力の向上に資するため資機材の整備について検討を行う。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・消防団施設維持管理事業
消防団施設を適切に維持管理し、災害発生時の即時対応体制を保持する。
- ・消防団庁舎整備事業
消防団施設の老朽化や耐震性能不足を解消するため、計画的に改修・改築工事を実施し、地域防災拠点としての整備及び感染症対策に配慮した施設環境の改善を図る。
- ・消防団資機材整備事業
消防団活動上必要な資機材等を更新する。

事業シート (事業名) 03 消防団員福利厚生事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

地域防災の要である消防団員の福利厚生制度の拡充を図るとともに、消防団員等の公務災害に対応し、十分な補償を確保し職務に専念できるようにすることを目的とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1955	-	一般会計	自治事務(法令義務)	浜松市消防団員等公務災害補償条例他

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①貧困	①都市	③気候変動							
事業とゴールの関連性		消防団員の福利厚生の実施を図り、職務に専念できる環境を構築し、消防防災力を強化することで、災害による被害の軽減を図る。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	155,126	125,290	138,769	123,792		
	決算	154,423	113,441	137,272			
	国・県支出						
	市債						
	その他	82,442	42,300	67,014	53,679		
	一般財源	71,981	71,141	70,258	70,113		
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		5,600	5,600	5,600	5,600		
人工	正規	0.8	0.8	0.8	0.8		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		160,023	119,041	142,872	129,392		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
消防団協力事業所数(事業所)			目標	100	120	120	130	130	140
			実績	115	117	131			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・消防団員退職報償金支給事業
退職した消防団員に対し、階級及び勤務年数に応じた退職報償金を支給した。
- ・消防団員等賞じゅつ金等支給事業
災害活動において死亡した消防団員の遺族に対する賞じゅつ金を支払った。
- ・消防団員等公務災害補償等共済事業
消防団員の福利厚生を図るとともに、消防団員等の公務災害に対し、十分な補償を確保した。
- ・消防団協力事業所表示制度
消防団員の活動環境向上のため、消防団活動に協力いただいている事業所を認定した。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・事業所へ文書を発送する際に、消防団協力事業所表示制度を周知するための資料を同梱する等、広報の展開により事業所の消防団に対する理解等が促進し、消防団協力事業所数は増加した。
- ・消防団員退職報償金支給事業
退職した消防団員に対し、階級及び勤務年数に応じた退職報償金を支給した。
- ・消防団員等賞じゅつ金等支給事業
賞じゅつ金及び見舞金の支給対象となる事案の発生はなかった。
- ・消防団員等公務災害補償等共済事業
日本消防協会消防団員福祉共済に継続して加入した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)
特になし。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・事業所へ文書を発送する際に、消防団協力事業所表示制度を周知するための資料を同梱する等広報活動を実施し、協力事業所が14事業所増加した。また、消防団員の活動環境向上のための新たな取り組みについて、情報収集した。
- ・退団した消防団員へ退職報償金を支給した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・消防団員の活動環境向上のため、事業所と協力することにより地域の消防防災体制の充実強化が図れる新たな取り組みについて、検討する。
- ・消防団員の福利厚生事業は、消防団員が憂いなく災害活動を行うための制度であり、今後も継続していく。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・消防団員退職報償金支給事業
退職した消防団員に対し、階級及び勤務年数に応じた退職報償金を支給する。
- ・消防団員等賞じゅつ金等支給事業
災害活動において死亡した消防団員と遺族に対する賞じゅつ金及び休業補償支給者のうち7日以上休業した消防団員に対して見舞金を支払う。
- ・消防団員等公務災害補償等共済事業
消防団員の福利厚生を図るとともに、消防団員等の公務災害に対し、十分な補償を確保する。
- ・消防団協力事業所表示制度
消防団員の活動環境向上のため、消防団活動に協力いただいている事業所を認定する。

事業シート (事業名) 04 消防団運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

継続的な消防団運営体制の確保のため、従来の働き盛り世代の男性のみならず女性や若者に対する加入促進活動を展開し消防団員数の充実を図る。消耗品の購入(装備品等)、郵便料等に係る経費を確保し、円滑な活動を行うことを目的とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1948	-	一般会計	自治事務(法令事務)	浜松市消防団に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①貧困	①都市	③気候変動							
事業とゴールの関連性		継続的に消防団運営体制を確保するとともに消防団組織の充実を図ることで、消防防災力を強化し、災害による被害の軽減を図る。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	10,297	10,823	7,217	10,504		
	決算	9,072	10,219	7,023			
	国・県支出		4,994	1,585	5,000		
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	9,072	5,225	5,438	5,504		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		24,000	24,000	24,000	21,000		
人工	正規	2.4	2.4	2.4	2.6		
	再任用(31h)	2.0	2.0	2.0			
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				1.0		
年間経費(予算又は決算+A+B)		33,072	34,219	31,023	31,504		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
女性消防団員数(人)			目標	45	45	50	55	60	70
			実績	39	38	39			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

将来にわたる継続的な消防団運営体制の確保のため、消防団員加入促進活動を実施した。特に、従来の働き盛り世代の男性のみならず、女性や若者に対する加入促進活動も展開した。
 また、消防団の運営に必要な消耗品の購入等を行った。

- ・消防団活動に必要な消耗品等の購入に係る経費
 装備品等の購入
- ・静岡県消防協会西遠支部負担金
 県下消防団が連携し消防知識技術の向上を図り、消防活動の充実強化等を図った。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・女性消防団員は、5人入団し、前年度比1人増であった。
- ・静岡県消防協会西遠支部負担金については、同団体が主催するWeb研修等への参加を通じて、消防団員が消防技術等を習得・習熟し、もって浜松市の災害対応能力の向上を図った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

特になし。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・コロナ感染防止対策として昨年度に引き続き、公式Instagram等のSNSでの情報発信を強化した。また、Googleディスプレイ広告及びInstagram広告等を活用した消防団員加入促進事業を実施した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・前年度に実施した消防団員加入促進事業結果を分析し、効果的な入団促進広報を展開するとともに、企業等と連携した広報を進めていく。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

将来にわたる継続的な消防団運営体制の確保のため、消防団員加入促進活動を実施する。特に、女性や若者をターゲットにした加入促進活動も展開する。
 また、消防団の運営に必要な消耗品の購入等を行う。

- ・消防団活動に必要な消耗品等の購入に係る経費
 装備品等の購入
- ・静岡県消防協会西遠支部負担金
 県下消防団が連携し消防知識技術の向上を図り、消防活動の充実強化等を図る。